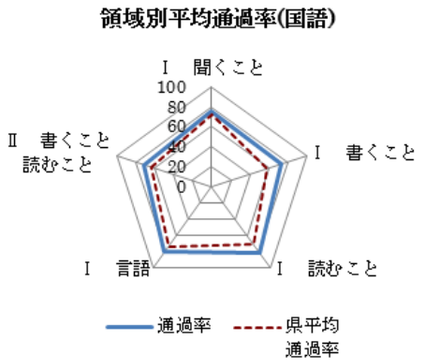
別紙　６

指導方法等の改善計画について　〔 国 語 科 〕

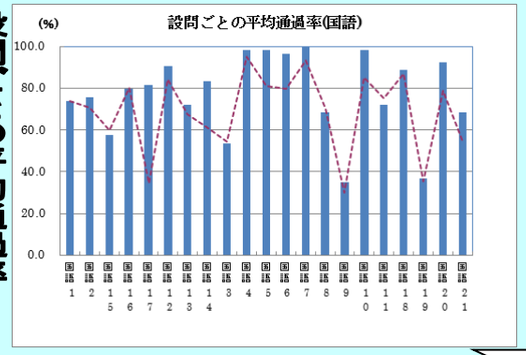
呉市立片山中学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 77.2%，県 69.2%）

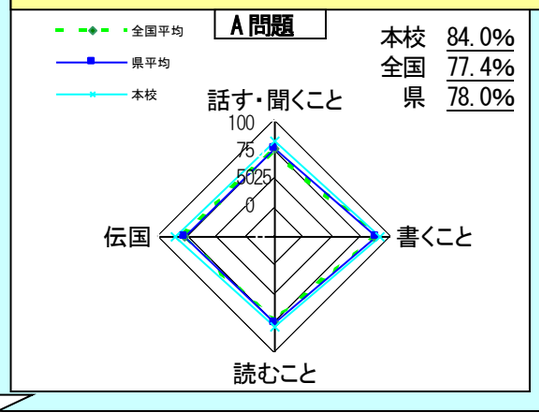
領域別平均通過率



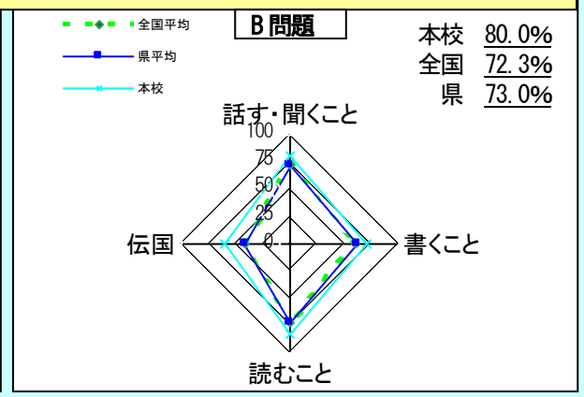
設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率



本校	84.0%
全国	77.4%
県	78.0%



本校	80.0%
全国	72.3%
県	73.0%

重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎全体では７７．２％と県平均を上回り，各領域もバランスよくできている。
◎タイプⅡの五の２「目的に応じて資料を読み，要旨を把握する力」を問う問題は，３７．０％と課題がある。要旨を把握する力だけでなく，指定された条件に従って記述する力に課題がある。
◎漢字の問い「しどう」を「始動」と書けた生徒が３５．２％であった。
◇A問題五ーー「文章の構成を工夫して分かりやすく書く」は，通過率が７３．９％で，県・全国平均よりも下回っている。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎説明文を読み，指定された字数に合わせて要旨をまとめる活動を取り入れる。あらかじめまとめられた要旨の一部を空欄にしておき，資料のどの部分を使えばよいかを考え，条件に合わせて書く活動を取り入れる。
◎新出漢字を覚えるだけでなく，既出の漢字を繰り返し書き，同音異義語も重点的に扱う。

◇教材文の段落のはたらきを把握させ，自分が文章を書く時に意識できるような活動を取り入れる。書いた文章を互いに読み合い，評価させる。

※「読むこと」において，文章の段落の役割や意味，重要な表現を考えさせながら読ませる。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２年生実力試験	２年生中間試験		２年生期末試験		１年生学力調査 ２年生「基礎・基本」調査	１年生「基礎基本調査」
目標値	６５％	６５％		６５％		８０％	７０％
実施後数値	６７％	６８．３％		６４．８％		７９．５％	

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		３年生中間試験		２年生 H29 全国	３年学年末試験		
目標値		７５％		６５％	８０％		
実施後数値				A問題７８．９％			

来年度に向けて

複数の資料を読んで分析し，適切な表現でまとめる活動を取り入れる。そのためにも，語彙を増やす，要点をまとめる，条件に合わせて書くという力をつけていく。

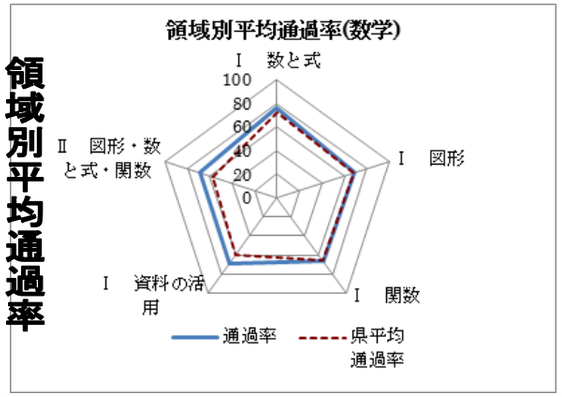
別紙　６

指導方法等の改善計画について　〔 数 学 科 〕

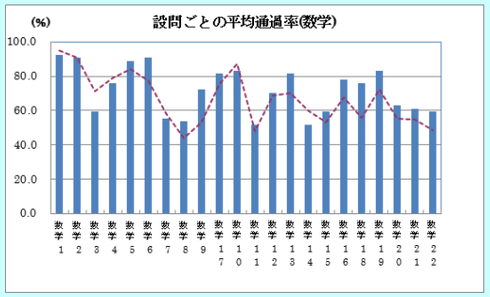
呉市立片山中学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 71.8%，県 66.9%）

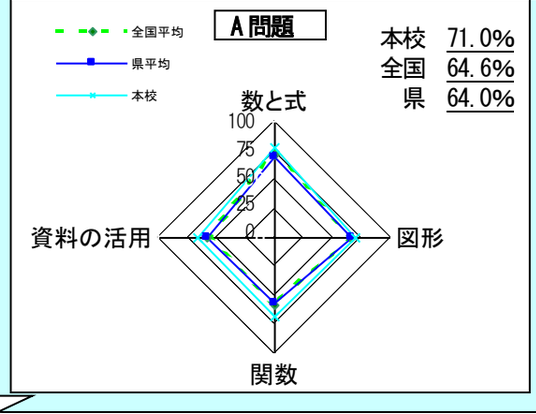
領域別平均通過率

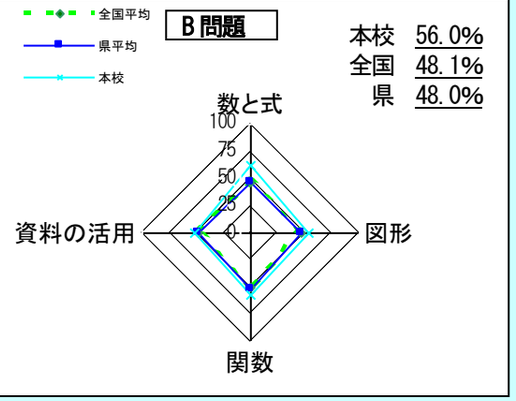


設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎通過率が５０％を下回る問題はなかったが，タイプⅠの数量や図形についての問題で５０％台がいくつかあった。用語の意味など理解が不十分であった。
◎タイプⅡの１２では事象の解釈と表現が５９．３％で課題がのこった。

◇全国学力のＡ問題で図形の基礎用語の理解が不十分（錯角３０．４％など）で，全国平均や広島県平均を下回った。Ｂ 問題では回転移動の説明とグラフを読み取り説明問題が広島県や全国の平均通過率を下回った。（８．７％）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎小テストを毎時間実施することで数学用語の意味，計算の順序，文字式の規則を確認しながら基礎学力の定着をつけていく。
◎事象の解釈と表現は一次関数の利用で，再度，比例，反比例の内容を復習しながら深めていく。

◇図形の基本的用語等を，図形領域の学習のとき復習し，３年間の総復習で定着させていく。
◇論理的に考え表現できるように各単元での授業の工夫改善をおこなっていく。

※小中一貫教育の取組としては，思考力・判断力・表現力に課題があるので，各単元の活用問題で，基礎的用語や内容を定着させ，思考力・判断力・表現力を深めていく指導を行っていく。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２年生課題試験	２年生中間試験		２年生期末試験		１年生学力試験 ２年生「基礎・基本」調査	１年生「基礎基本」調査
目標値	７０％	７０％		６０％		７０％・７０％	７０％
実施後数値	６７．１％	６３．９％		６２．８％		６５．３％，７３．０％	６９．９％

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	３年生課題試験	中間試験	実力試験	期末試験			２年生全国学力調査
目標値	６５％	７０％	６５％	７０％			７５％・６５％
実施後数値	５８．１％	６８．６％	５６．９％	６２．７％			６９．８％，５５．９％

来年度に向けて

・一次関数の利用で一年で学習した内容を復習したが，定着が不十分であるので，更に小テストなどで繰り返し学習し定着させていく。
・定期試験等で思考力・判断力・表現力を問う問題を出題し，深めていく。

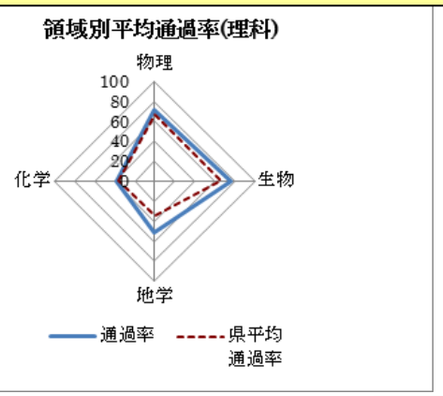
別紙　6

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

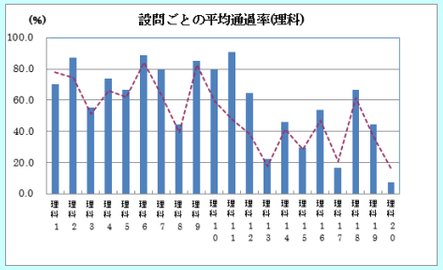
呉市立片山中学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 58.7%，県 50.8%）

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①メスシリンダーを用いて固体の体積をはかる問題では，メスシリンダーの目盛りは読めてはいるものの，その差から固体の体積を求めることまではできず，誤答となっている。このことから，基本的な技能の習得が必要である。
（通過率１６．７%，無解答１．９%）

◎②物質の量が半分になったとき，状態変化のグラフはどのように変わるかを説明する問題で，全体の７９．３%の生徒はグラフの選択の段階で誤答となっている。また，グラフの選択はあっている生徒でも，理由を説明する際に必要となるキーワードを用いることができていなかった。（通過率７．４%，無解答１．９%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎①基本的な技能を習得させていくために，まず実験や観察の時間を十分にとり，個々が技能を身に付けていく機会を用意する。また，小テストをくり返し行い，技能に合わせて，基本的な知識の定着も図る。更に，その技能がどのような場面で使用できるか想定するために，実験計画も行えるような授業を展開する。

◎②理科の現象に関する理由を説明するために，実験・観察で必要となるキーワードを提示して考察を書いていく機会を用意する。また，キーワードを提示して自分の考えを文章で書けるようになれば，次の段階として，根拠ある文章にするためにはどのようなキーワードを用いればよいのか自分で考えていくような授業を行う。

※小中一貫した取り組みについては，思考力･判断力・表現力を身に付けていくために，根拠をもとに考え，表現させるよう指導する。

◎「基礎・基本」①	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		２年生 中間テスト		２年生 期末テスト		２年生　Ｈ２９ 「基礎・基本」	１年生 学年末テスト
目標値		５０．０%		５０．０%		６０．０%	６５．０%
実施後数値		５４．６%		５１．９%			５７．１%

◎「基礎・基本」②	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		２学年 中間テスト		２年生 期末テスト		２年生　Ｈ２９ 「基礎・基本」	１年生 学年末テスト
目標値		４０．０%		４０．０%		５０．０%	６０．０%
実施後数値		５９．２%		６０．０%			６２．９%

来年度に向けて

・思考力や活用力を問う問題については，想定した目標値を超えた結果が出ている。目標設定をより適切なものにしてさらに力を伸ばしていく。

・実験･観察から根拠を持って説明し意見を交流しながら表現力を向上させる

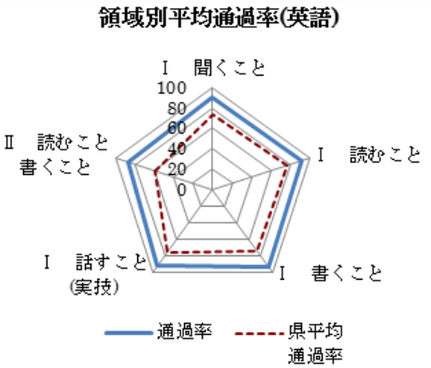
別紙　６

指導方法等の改善計画について　〔 英 語 科 〕

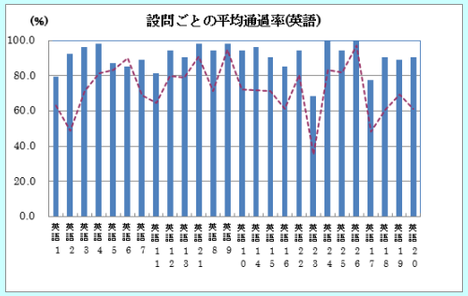
呉市立片山中学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 90.7%，県 72.4%）

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①通過率が 60%を下回る問題はなかったが，タイプⅠ「読むこと」の領域において，適切な文を用いた会話文の組み立てに課題が残った。

（通過率　81.5％）

◎②タイプⅡ「読むこと書くこと」の領域において，根拠となる英文の読み取りに課題が残った。必要な情報を十分に読み取る力が身についていない。

（通過率　77.8％）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎①インタビュー活動やチャット等で実際に相手に質問するような場面を設定する。また，「話すこと」を「書くこと」につなげ，主語は下線，動詞には丸で囲むなど，主語と動詞に着目させたり，カードを活用したりするなどして，視覚的に文構造を理解させ，ドリル学習を行う。

◎②小テスト等を取り入れ，語彙力を増やす。まとまった英文を読み，分かった情報を整理する活動を仕組む。

※小中一貫の取組については，中学校の英語学習で大切にしていることを小中学校で共通理解し，小学校のうちから学習の基盤を築く。

◎「基礎・基本」①	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２年生 休み明けテスト	２年生 中間テスト		２年生 期末テスト		１年生　Ｈ２９ 「基礎・基本」	１年生 学年末テスト
目標値	８５．０％	８５．０％		８５．０％		８５．０％	８５．０％
実施後数値	８９．３％	８７．５％		８８．０％			８３．５％

◎「基礎・基本」②	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２年生 休み明けテスト	２年生 中間テスト		２年生 期末テスト		１年生　Ｈ２９ 「基礎・基本」	１年生 学年末テスト
目標値	８０．０％	８０．０％		８５．０％		８０．０％	８０．０％
実施後数値	７２．４％	７３．０％		７５．０％			７０．５％

来年度に向けて

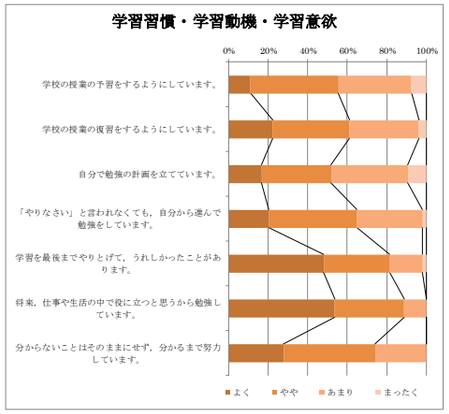
・まとまった英文や，資料から必要な情報を読み取る力を身につける。そのために語彙力を増やし，長文を整理しながら読み取る活動を取り入れる。

・定期試験等で思考力・判断力・表現力を問う問題を出題し，深めていく。

別紙　６

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

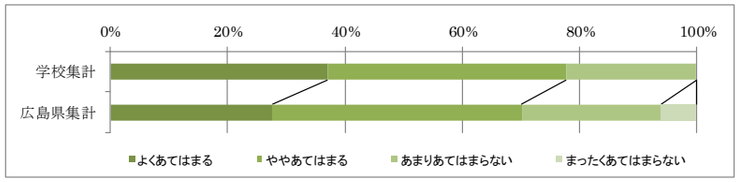
（１）生活・学習



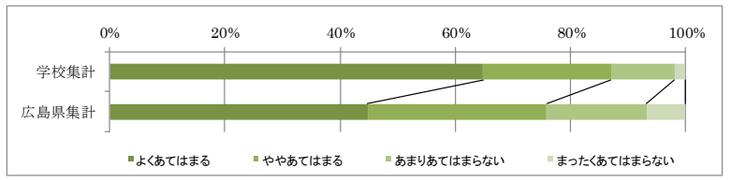
	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	「学校の授業の予習をするようにしています」の肯定的評価が55.5％。昨年度設定した目標値，60%に届いていない。	昨年度よりは16.9%上回っている。引き続き生徒が学びたいと思える教材や課題提示等，事前に生徒が自ら調べようとする授業改善を行う。	2	７０％	同じアンケート	12月	71.9％	16.4％
全国	「家で，学校の授業の予習をしてますか」の肯定的評価が23.9%で全国平均を7.8%，県平均を7.5%下回っている。	各教科で，生徒が学びたいと思えるような教材や課題提示等，事前に生徒が自ら調べようとする授業改善を行う。	3	６０％	同じアンケート	12月	41.3％	17.4％

（２）教科

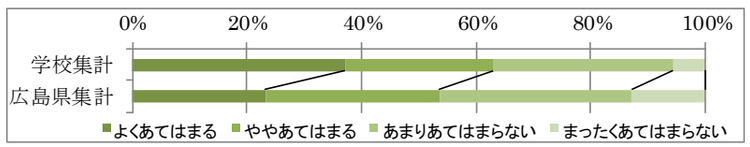
国語の授業では，目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしています。



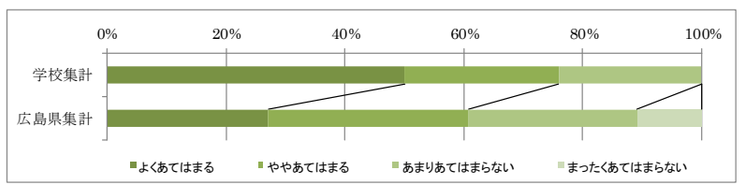
数学の授業では，自分の解き方や考え方の説明をノートに書いています。



理科の授業では，観察や実験を行うときは，その目的は何かを意識しています。



英語の授業では，自分の考えや気持ち，事実などを英語で話しています。



		生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	「国語の授業では，目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしています。」の肯定的評価が77.7%となっている。	討論や意見文を書くために，情報を集め、必要な情報を取捨選択したり，要点をまとめたりするなどして，自分の考えを表現する活動を行う。	2	８０％	同じアンケート	２月	91.2％	13.5％
	全国	「国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」の肯定的評価は54.4%で，県平均より6.7%低い。	条件に合わせて自分の伝えたい内容をメモとして書き出させ，スピーチする活動を設ける。	3	６０％	同じアンケート	３年１２月	87.8％	33.4％
数学	基礎・基本	「数学の授業はよく分かります。」の肯定的評価が７２．５ポイントで県平均より４．８下回った。	小テストの実施で課題になっている内容を繰り返しおこない学力の定着を図り，学習内容を理解できるようする。また興味関心が高まる授業の工夫改善を行っていく。	2	８０％	同じアンケート	12月	82.4％	9.9%
	全国	「数学の勉強は好きですか」の肯定的評価が56.5ポイントであった。県平均と比べると，1.6，ポイント下回った。	めあて，振り返りをしっかりおこなうとともに，興味関心が高まる導入教材の工夫改善をおこなっていく。	3	７０％	同じアンケート	12月	47.8％	−8.7％
理科	基礎・基本	「理科の授業では，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」の肯定的評価は63.0%と，他の質問より低くなっている。	実験や・観察で，自分の考えを発表する機会を頻繁に用意する。また，自分の考えを発表しやすくするためにも，ヒントカードを準備したり，小グループでの話し合いを行うなど，自分の考えに自信を持てるような工夫を行う。	2	７０％	同じアンケート２年生	２月	57.9％	-5.1％
英語	基礎・基本	「英語の授業では，自分の考えや気持ち，事実などを英語で話しています。」の肯定的評価が75.9ポイントと，他の質問より低くなっている。	常に基礎基本を身に付けさせる。また，目的，場面，状況など，自分ごととして捉えることができる必然性をもたせた課題を設定し，英語で表現してみたいという意欲を育てる。	2	８０％	同じアンケート	２月	89.4％	13.5％